

# 「防災教育の効果的な進め方」

H30.8.6

## をテーマに講義を実施しました！

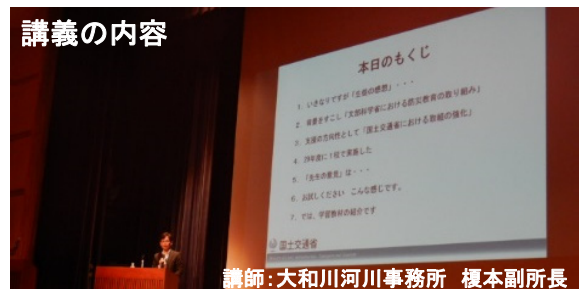
～大和川河川事務所～

自然災害から子供たちが自分自身を守り、お互いに助け合っていける力を育むためには、幼少期からの防災教育が重要です。文部科学省と国土交通省で協力して防災教育の充実に向けた取り組みを強化していくこととしています。

大和川河川事務所は奈良県教育委員会の依頼を受け、文部科学省、奈良県教育委員会が主催する平成30年度 学校安全教室推進事業の一環として奈良県内の学校(幼稚園含む)の教職員、各市町村教育委員会、学校関係者(PTA等)を対象に「防災教育の効果的な進め方」をテーマとした講義を実施しました。

- 日 時：平成30年8月6日(月)10:00～11:00
- 場 所：奈良県社会福祉総合センター(大ホール)
- 主 催：文部科学省、奈良県教育委員会
- 対 象：学校(幼稚園含む)の教職員、各市町村教育委員会、学校関係者(PTA等)
- 参加者：63名

### 講義の内容



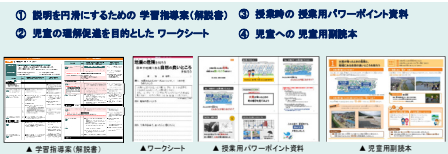
### 講義の様子



### 学習教材の紹介

#### ◆ 防災授業資料 洪水から命を守るための本

- 地震災害・津波災害・風水害(洪水・土砂災害)・洪水災害の4災害について作成。なお、作成に際しては、小学校での授業(40分)を想定し、小学校高学年(小学5年生)が理解できる内容で作成。
- 学習指導要領改訂においても重要な教育手法とされているアクティブラーニングを取り入れて、4災害それぞれに対して、丁寧に学ぶ3ステップに授業案を取りまとめた。
- 3ステップは、「自然災害→災害の仕組み→災害から命を守る」と順番に組み上げ学習での活用だけでなく、防災教育の取り組み状況に応じて、授業の仕組み・授業案といった単発学習での活用も可能。
- 災害種類(4災害)・授業回(3ターム)ごとに、次の4資料を作成。



### 学習教材の紹介



**先生の感想**  
・1人で考えるより、グループで意見を交換し合う時間があったのが良かった。  
・今後授業をするにあたって、災害に対する準備や中心構えの書かれた教材が欲しい。

**生徒の感想**  
・ただ避難するだけではなく、状況に合わせた避難が必要だと思いました。  
・早めの避難は大事だけど、自分で判断して避難することも大切だとわかりました。

【問い合わせ先】  
国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 調査課  
〒583-0001 大阪府藤井寺市川北3-8-33 TEL 072-971-1381

### 王寺北小学校でのモデル授業の紹介

#### ○主催者(奈良県教育委員会の方)からのコメント

今後、防災教育をしていく上で、国土交通省より資料の紹介があった。積極的に活用下さい。

#### ○参加者(特別支援学校教諭)からのコメント

- ・防災に関する教材はとても参考になった。職員会議の研修報告で職員に周知したい。
- ・実際に行った防災教育の実例を具体的に示して頂き、大変参考になった。

#### ○参加者(小学校教諭)からのコメント

・児童に対する防災教育の具体的なイメージができて良かった。教材や指導案まであり、わかりやすくて良かった。

#### ○参加者(教育委員会指導主事)からのコメント

・「どうする？」と考えさせる場面が豊富な教材が大切であると思った。

#### 【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局

大和川河川事務所 調査課

〒583-0001 大阪府藤井寺市川北3-8-33

TEL 072-971-1381

